

富士吉田ecoパンフレット

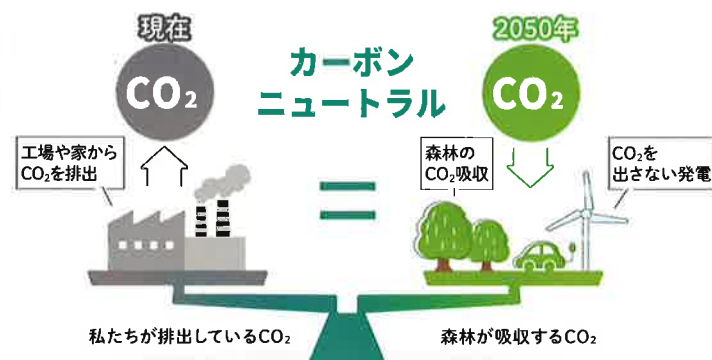
カーボンニュートラルへの取り組み

未来のためにできることを考え実践してみよう



カーボンニュートラルってなあに？

カーボンニュートラルとは、二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの「排出量」から「吸収量」を差し引いてゼロにする取り組みです。



目指せ2050年までにCO₂の排出量 **0**

なんでいま取り組みないといけないの？



地球の気温は少しずつ上がっており、このままだとさらに気温が上がり深刻になっていくと予想されています。地球の気温が上がっているのは、みんなが生活するときに発生する空気をあたためる効果のある「温室効果ガス」が増えているから。特に、温室効果ガスの大半をCO₂が占めているため、地球温暖化を防ぐにはCO₂の排出量を減らすことが重要です。

どうしたらCO₂排出量を減らせるの？

日本のCO₂排出量は...

電力をつくる時 **約4割**

石油や石炭、天然ガスなどを燃やして電気をつくる時に排出されています。

石油 天然ガス 石炭



家庭や工場から **約6割**

家や自動車、工場などでエネルギーをつかうときに排出されています。



エネルギーをつくる人とかう人の両方でCO₂を減らしていけないんだね！一人ひとりがなにをすればいいのか一緒に考えよう



みんなができるコト



使用していない電気は消そう



食品ロスをなくそう



車ではなく公共交通機関や自転車を利用しよう



ゴミを燃やすときにもCO₂が発生するよ資源（ペットボトル、紙、缶など）を分別しよう



プラスチックゴミを減らそうマイ箸、マイバック、マイボトルを使おう



CO₂を吸収してくれるよ緑を育てて緑を守ろう



FSC マーク※の製品を選ぼう

Renewable
リニアブル 再生可能

Reduce リデュース 減らす
Reuse リユース 再利用
Recycle リサイクル 再生利用
Refuse リフーズ 断る



地球上の水の97.5%は海水で淡水はわずか2.5%シャワーを出す時間を短くするなど節水を心がけよう

※FSC マークとは、きちんと管理された森の木材からつくられた製品であることを示すマークです。



教えて博士ちゃん

地球温暖化が進むとどうなるの？

ここ最近、世界で起きている異常気象は、地球温暖化が原因といわれます。地球温暖化が進んで気温が上がると、大気中の水蒸気量が増えると考えられています。大気中に水蒸気量が増えれば、大雨や大雪といった降水量や積雪量の増加につながる恐れがあります。水蒸気量が増えることによって大気や地表の状態

が変化すれば、さらなる異常気象を引き起こす可能性もあるでしょう。日本で増えている夏の猛暑やゲリラ豪雨、大雪も地球温暖化の影響といわれています。



第3次富士吉田市環境基本計画はこちらから▶

発行／山梨県富士吉田市経済環境部環境政策課
〒403-0002 山梨県富士吉田市小見3丁目11番32号 TEL: 0555-30-4153 FAX: 0555-30-4154



生物多様性の保全への取り組み

未来のためにできることを考え実践してみよう



生物多様性

ってなあに？



地球上には約3,000万種もの生きものがいます。生きものは、山・森・川・海などのいろいろな場所で暮らしていて、この多様な暮らしが「生態系」といいます。このように、いろいろな生きものが豊かな自然環境のもと、お互いにつながりあってバランスが取れている状態が「生物多様性」といいます。私たちの生活は、生きもののめぐみによって支えられています。

3つの生物の多様性



この「生物多様性」には、3つのレベルの多様性があるよ
みんなも一緒に思い浮かべてみよう

1 生態系の多様性

森林、草原、河川など様々な環境にそれぞれの生態系が存在すること

2 種の多様性

動植物から微生物まで、たくさんの種の生物が生きていること

3 遺伝子の多様性

同じ種の生物であっても、遺伝子のレベルでは違いがあること

知ってる？

生物多様性の危機

第1の危機 人間の活動や開発による危機

人間が使う道路や工場、住宅を作るために、生きもののすみかである森林の伐採などの自然が破壊されています。



例 キキョウ

第2の危機 自然に対する働きかけの縮小による危機

人口減少、高齢化で里池里山などの手入れが行き届かなくなることにより、そこをすみかとしている生きものが減っています。



例 ニホンモモンガ

第3の危機 人間により持ち込まれたものによる危機

人間によって持ち込まれた外来種がもともと住んでいた生きものを食べたり、追いつめたりしています。農薬などの科学物質が生きものに影響を与えています。



例 アライグマ

第4の危機 地球環境の変化による危機

地球温暖化によって地球全体の平均気温が1.5℃～2.5℃以上あがると約20～30%の動植物の絶滅リスクが高まるだろうといわれています。



例 ライチョウ

出典：山梨県「山梨の自然を守るため」より

みんなができるコト



緑を育てて
緑を守ろう



身近な自然に関心を持って
そっと生き物を観察しよう



絶滅のおそれのある生き物を
つかまえたり飼ったりしない



ペットや外来種を
自然の中に放さない
(責任を持って最後まで飼うこと)



外に出かけたときは
ごみはすべて持ち帰ろう
(ポイ捨て、不法投棄はダメ)



ごみはきちんと分別し
決められた方法で捨てよう
(ペットボトル、缶、牛乳パックなどは
ごみではなく資源だよ)



むやみに野草を採ったり
傷つけたりしない



野生動物に
エサを与えない



流しに使い終わった油や
食べ残しを捨てない
(川から海へつながっているよ)



教えて博士ちゃん

気温の現状と推移

気温は上昇している

この変化には、地球温暖化に加えて、都市化やその他の自然変動の影響も含まれていると考えられます。

過去100年あたりの年平均気温

全国平均 1.35℃ 上昇

富士河口湖町 2.3℃ 上昇

更に気温が上昇すると予想される

スーパーコンピュータを用いた気象庁の地球温暖化の予測によると、山梨県では20世紀末に比べて21世紀末には以下のような変化が起これと予想されています。

◎ 年平均気温が約3℃上昇

◎ 真夏日数が年間で約30日増加

◎ 冬日数が年間で約40日減少

出典：甲府地方気象台「山梨県の気候変化」より